

# 活動報告

令和  
7年度

県民のために誠意を持って議会活動に取り組みます！

## 総務政策部会

総務政策部会では、総合政策や行財政対策に関し、総合計画、財政、税務、危機管理、地域の活性化等の調査研究等を通して政策提言を行っています。

### 部会長コメント

総務政策行政の重点テーマとして、県政の根幹をなす行財政改革、地域振興、デジタル化推進、安全・安心な地域づくり等について、調査研究を行いました。引き続き、効率的で健全な県財政の確立、防災・減災対策の強化、行政サービスの向上と地域社会のデジタル化、県職員の処遇改善と組織力の強化等政策の実現に向けて提言してまいります。



部会長 さとう まさひろ  
佐藤 雅洋  
(選挙区：西臼杵郡)  
当選回数2回



とやま まもる  
外山 衛  
(選挙区：日南市)  
当選回数6回



やまうち  
山内 いっとく  
(選挙区：都城市)  
当選回数1回



さいとう りょうすけ  
齊藤 了介  
(選挙区：宮崎市)  
当選回数1回



かわの みちひろ  
河野 通博  
(選挙区：串間市)  
当選回数1回

## 厚生部会

厚生部会では、福祉保健行政の推進や県立病院事業の運営に関し、福祉、保健衛生、医療等の調査研究等を通して政策提言を行っています。

### 部会長コメント

福祉保健関係の事業者の経営をはじめとする様々な課題が山積する中、県内の団体等との意見交換を実施し、県及び国に改善を求める要望を行いました。また、中核的医療機関における医師の確保及び地域医療の連携などの調査を行ったほか、アピアランスケアの助成や戦没者追悼及び平和祈念についての請願の採択に向けた取組を行いました。



くろいわ やすお  
黒岩 保雄  
(選挙区：日南市)  
当選回数1回



はまなか まもる  
濱砂 守  
(選挙区：吾都市・西米良村)  
当選回数6回



ひだか よういち  
日高 陽一  
(選挙区：宮崎市)  
当選回数3回



やました ことか  
山下 寿  
(選挙区：児湯郡)  
当選回数2回



わたなべ まさたけ  
渡辺 正剛  
(選挙区：東諸県郡)  
当選回数1回

## 商工建設部会

商工建設部会では、商工観光振興対策や県土整備に関し、商工業や観光の振興、企業の誘致、道路・河川の整備等の調査研究等を通して政策提言を行っています。

### 部会長コメント

商工建設部会では、物価高騰や人手不足、頻発する自然災害など県内産業を取り巻く課題に対応し、商工業・建設業の持続的発展と県民生活の安全確保に向け、実効性ある政策提言に取り組んできました。引き続き地域経済の活性化と雇用の創出、強靱な社会基盤整備を柱に、これからも現場の声を県政に反映すべく、提案してまいります。



うちだ りさ  
内田 理佐  
(選挙区：延岡市)  
当選回数2回



ひだか ひろゆき  
日高 博之  
(選挙区：日向市)  
当選回数3回



ふくだ しんいち  
福田 新一  
(選挙区：北諸県郡)  
当選回数1回



やまぐち としき  
山口 俊樹  
(選挙区：宮崎市)  
当選回数1回

## 環境農林水産部会

環境農林水産部会では、環境対策や農林水産業振興対策に関し、環境や農業、林業、水産業の振興等の調査研究等を通して政策提言を行っています。

### 部会長コメント

農林水産業従事者の減少や高齢化、また自然災害の激甚化・頻発化など農林水産業を取り巻く環境には厳しいものがあります。

そのような中、持続可能な魅力ある宮崎の農林水産業の実現のために、担い手対策やスマート農業など、県議会として調査研究と政策提言を行いました。



かわえ ひろし  
川添 博  
(選挙区：宮崎市)  
当選回数2回



やました ひろみ  
山下 博三  
(選挙区：都城市)  
当選回数5回



ふたみ やすゆき  
二見 康之  
(選挙区：都城市)  
当選回数4回



のざき こうし  
野崎 幸士  
(選挙区：宮崎市)  
当選回数3回



しもおき あつし  
下沖 篤史  
(選挙区：小林市・西諸県郡)  
当選回数1回

## 文教警察企業部会

文教警察企業部会では、教育や警察行政の推進、公営企業の経営に関し、学校教育、警察、県が行う電気事業、工業用水道事業等の調査研究等を通して政策提言を行っています。

### 部会長コメント

教育行政においては、高校授業料無償化に伴う県立高校の再構築の取組について提言したほか、いじめ対策などについて要望しました。

警察行政においては、特殊詐欺や違法薬物などの若年者の犯罪防止に向けた取組の強化について提言したほか、巧妙化する特殊詐欺の手口へのこれまで以上の対策を要望しました。



あらかみ みおる  
荒神 稔  
(選挙区：都城市)  
当選回数1回



さかぐち ひろみ  
坂口 博美  
(選挙区：児湯郡)  
当選回数9回



なかの かずのり  
中野 一則  
(選挙区：えびの市)  
当選回数7回



やすだ こうせい  
安田 厚生  
(選挙区：東臼杵郡)  
当選回数2回



ほんだ としひろ  
本田 利弘  
(選挙区：宮崎市)  
当選回数1回

県政に対する  
ご意見・ご要望を  
お聞かせください。

# 宮崎県議会自由民主党

Tel.0985-26-7219  
Fax.0985-32-4455

〒880-8501 宮崎県宮崎市橋通東2丁目10番1号 ホームページ <http://m-jimin.jp/>

## 代表質問・一般質問

会派では、令和7年度県議会の本会議で県知事や関係部長等に対し、年2回の代表質問(4名)及び年4回の一般質問(延べ31名)を行っております。

### 代表質問

9月定例会	9月定例会	2月定例会	2月定例会
幹事長 山下 寿	議運委員長 日高 博之	会長 坂口 博美	政審会長 安田 厚生
F-35B、グリーン成長プロジェクト、県森林環境税、海外トップセールス、農水産業の目指す姿、米の振興、肉用牛の生産基盤の維持・強化、財政運営、警察行政等	知事の政治姿勢、中山間地域の振興、外国人材受入・定着、女性活躍推進、防災・減災対策、県立病院運営、企業局の経営状況、盛土対策、医療・福祉行政、教育行政等	次期知事選、地方税財源の安定的な確保、人口減少社会への適応、神楽、観光振興、スポーツランドみやざき、診療報酬改定、地域共生社会の実現、防災・減災対策等	農畜水産物の輸出拡大、国スポ・障スポの大会づくり、キャッシュレス決済、試験場再編、生物多様性に配慮した森づくり、工業用水道事業、高校無償化、移動交番車等

代表質問・一般質問の様子は宮崎県議会ホームページのライブ・録画中継でご覧いただけます。

# 主な活動

会派を代表して行う代表質問や一般質問、国・県の予算編成時期における提言・要望、地域や関係団体等との意見交換会、議員研修、会派内設置の専門部会や調査会等による各種施策等に関する調査研究など積極的な政務活動を行いました。  
～ これらの政務活動は「県政に対する提言」として反映しています～

## 提言・要望

### 県政に対する提言 会派三役、各専門部会長

会派三役及び各専門部会長が知事に対し、「中山間地域の振興」、「国スポ・障スポの取組」、「医師の確保」、「防災・減災、県土強靱化の着実な推進」、「持続可能な主食用米をはじめとした水田農業の再構築」、「高校無償化後の県立高校の在り方」など本県の直面する県政の重要な課題14項目について、政策の提言を行うとともに、その実現に向けて、令和7年度補正予算及び令和8年度当初予算の編成において積極的に反映されるよう要望しました。



知事会議室にて

## 意見交換

### 地域振興・産業振興調査会

(会派三役、専門部会長による地域関係団体代表者との意見交換)

#### ●西都・西米良地区

西都・西米良地区の地域振興・産業振興をテーマに、会派三役・専門部会長が地元市長・村長をはじめ議会、農林業、商工業、建設業、森林業、医師会など関係団体代表者と意見交換を行いました。

地域特有の行政課題と関係団体が抱える課題・要望事項の主なものとして、①令和8年度日本遺産フェスティバルについて ②国スポ・障スポにおける補助金・交付金の拡充について ③防犯対策のための道路照明整備について ④人口減少対策について ⑤森林整備の更なる推進について 意見交換しました。



#### ●南那珂地区

南那珂地区の地域振興・産業振興をテーマに、会派三役・専門部会長が地元市長をはじめ議会、農林業、商工業、建設業、水産業など関係団体代表者と意見交換を行いました。

地域特有の行政課題と関係団体が抱える課題・要望事項の主なものとして、①こども医療費の助成対象拡大について ②漁業における外国人材の受け入れに対する支援について ③サーフィンスポットの整備について ④油津港の港湾整備について ⑤国道222号牛ノ峠バイパスの整備実現について ⑥人口減少対策の取組強化について ⑦農業後継者(親元就農者)確保・育成対策について ⑧農業経営の継続と後継者及び新規就農者への長期的な支援の実施について ⑨日南・串間圏域における医師確保について 意見交換しました。



### 幼保教育関係団体との意見交換会

宮崎県幼児教育振興連盟と意見交換会を開催しました。宮崎県の幼児教育の現状と課題について、「宮崎県幼稚園連合会」から①[幼稚園特別支援教育経費補助金]について、県独自の認定基準の設立 ②[宮崎県私立学校退職金基金事業補助金(幼稚園等)]について、補助金の増額 などの意見要望がありました。また、特に、保育人材が不足するおそれ大きい地域において集中的に保育人材確保に取り組むことができる制度として、2025年10月に児童福祉法上に創設された「地域限定保育士制度」に基づいて、認定を受けた地方公共団体において地域限定保育士試験の実施が可能となりました。

本県においても、これらの制度を活用しながら、保育人材確保に取り組んでいく必要があるなどについて、意見交換しました。



### 宮崎県私立中学高等学校協会・ 専修学校各種学校連合会との意見交換会

宮崎県私立中学高等学校協会と、①私立高校振興費補助金の拡充・県単位での上乗せについて ②宮崎県公私立高校連絡協議会の抜本的改革について ③私立中学高校等におけるICT環境の整備等に対する県補助の充実について 意見交換しました。

また、専修学校各種学校連合会と、①職業実践専門課程認定校に対する支援について ②高等専修学校に対する運営費補助の拡充について ③ひなた創生のための奨学金返還支援事業の充実拡大について 意見交換しました。



## 研修

### 中央研修会

「中央研修会」の専門研修では、①地球温暖化と宮崎の農業について ②地球温暖化と宮崎の漁業について ③日本のエネルギー政策について をテーマに専門講師による研修を受講しました。

先進事例視察では、「川崎キングスカイフロント東急REIホテル」で、水素エネルギーの地域循環型地産地消モデルの実証事業を、「清水建設技術研究所」では、先端地震防災研究棟で、巨大地震の揺れを再現した大型振動台と大振幅振動台を体験し、さらに、1階プロティの柱上部に設置された柱頭免振構造等など巨大地震対策としての先端技術研究開発について視察しました。



清水建設技術研究所にて

### 宮崎県における最近の労働情勢についての勉強会

宮崎労働局長を講師に、宮崎県の最近の労働情勢について、勉強しました。近年の労働を取り巻く環境をみると、名目賃金が対前年同月比でプラスが続いている一方で、実質賃金は物価の高騰等の影響によって過去最長の26か月連続でマイナスとなっています。また、直近の有効求人倍率は、1.29倍と求人が求職を上回る状況が115か月連続で続いているが、県民の人口は、平成8年をピークに減少が続いており、一部の産業(医療・福祉・建設・運輸・警備等)では慢性的な人手不足の状況が継続しています。企業では、人手不足対策として、外国人労働者の活用及びDXを活用した生産性の向上に加え、働き方・休み方改革や福利厚生の充実など人材定着化に向けた取り組みがみられます。

このような労働情勢を踏まえ、宮崎労働局における、持続的な賃金引き上げに向けた機運の醸成、働く方々のニーズに応じた多様で柔軟な働き方の選択、多様な人材の活躍促進を通じた魅力ある職場づくり、生産性の高い産業や地域に根ざした産業の振興による雇用の創出、教育訓練等学びの場の充実や若年人口を中心とする社会減の抑制に資する雇用の確保など各種就労支援の取り組みについて勉強しました。



## 調査研究

### 総務政策部会

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、地域防災力の向上、防災・減災社会の実現に貢献するために必要な情報を発信する施設として設置された「人と防災未来センター」を視察調査しました。

館内では、防災・減災体験フロア・震災の記録フロア・震災追体験フロアなど分野別に展示資料や当時の映像、震災体験者の話などが網羅されており、一人ひとりが災害に対する正しい知識が身につくように配慮されており、近い将来起こると言われている巨大地震対策に活かしていきたいと思いました。

大阪・関西万博で、未来社会の実験場として、最先端の健康医療分野・環境グリーン分野・デジタル分野で様々な実験を勧め社会での実用化に努める関係パビリオンを視察しました。



人と防災未来センターにて

### 厚生部会

日本製鉄君津工場において、従業員の労働環境、福利厚生事業の一環としての健康管理、有給休暇制度、企業内保育所の設置など充実した取り組みを調査しました。

ハリウッド美容専門学校では、美容師等の育成及び斬新な美容業を取り巻く環境について調査しました。

また、公益財団法人 日本財団では、全国に展開している第3の子どもの居場所づくり支援事業について、その取り組み事例を調査しました。



ハリウッド美容専門学校にて

### 商工建設部会

福岡市の九州経済産業局産業部で、中小企業施策や九州内の企業立地状況及び補助事業について、視察調査しました。特に、中小企業の賃上げによる影響や底上げに関する支援事業等を勉強しました。駐福岡台湾総領事館総領事及び台湾貿易投資センターでは、宮崎と台湾との貿易について、意見交換しました。

北海道庁次世代半導体戦略室では、ラピダスをはじめ半導体関連企業誘致の取り組みと半導体関連産業の振興について、視察調査しました。

また、旭川市では、ICT人材の育成、IT関連企業誘致や最先端技術の導入を目的として開設されたICTパークで、スマートイノベーションラボやeスポーツ施設等を視察しました。



九州経済産業局産業部にて

### 環境農林水産部会

神奈川県三浦市にある神奈川県水産技術センターで、「磯焼け」の発生で失われた相模湾の海の森(藻場)を再生する研究に賛同した企業の寄附による藻場の再生とブルーカーボン創出の取り組みを、視察調査しました。

神奈川県横須賀市の神奈川県立海洋科学高校では、ドローンの教育指導の内容と実技指導について、視察調査しました。

神奈川県横浜市の東京パワーテクノロジー(株)では、太陽光パネルリサイクルの処理状況と課題、また、廃太陽光パネル処理施設を視察調査しました。



県立海洋科学高校にて

### 文教警察企業部会

沖縄県恩納村にある沖縄科学技術大学院大学を視察調査しました。

この大学は、世界の科学技術の発展に貢献し、沖縄でのイノベーションの拠点となるため2011年に設立されました。5年一貫性の博士課程教育を提供し、国を超えて、分野を超えて、優れた研究者が共同で、最先端の科学研究を行っています。学部・学科を設けず、境界線のない学際的アプローチによって、質の高い研究を実現。科学技術の革新、そして沖縄の経済発展の原動力となるイノベーション創出に取り組んでいます。大学の特色は、沖縄振興の観点から日本政府が予算の大部分を支援している特定私立学校法人であること、管轄は文部科学省ではなく内閣府であることなど、これまでの大学と異なるユニークなもので、大いに勉強になりました。

沖縄県那覇市で、首里城の復興へ向けた国及び県の取り組み状況を視察調査しました。

令和元年10月31日未明に発生した火災により琉球王国の象徴であり沖縄県民の誇りであった首里城正殿を含む建物8棟が焼損しました。沖縄県は、政府の「首里城復元に向けた基本的な方針」等を踏まえ、国や那覇市等関係機関と連携のもと、首里城の復元はもとより、琉球の歴史・文化の復興に取り組まれています。首里城は、琉球の歴史・文化・観光拠点であり、沖縄県の地域振興・観光振興に大きく貢献するなど歴史的・文化的価値は図り知れないものがあります。



沖縄科学技術大学院大学にて

### 宮崎県の最近の金融・経済概況についての勉強会

みやぎん経済研究所 常務理事を講師に迎え、宮崎県の最近の金融・経済概況について、勉強しました。

近年(2024年12月～2025年2月)の宮崎県経済の概況は、景気の緩やかな回復が続いています。これを主な経済指標でみると、鉱工業生産指数は、2カ月ぶりに前月比低下、百貨店・スーパー販売額は、3カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数は2カ月連続で前年同月比増加しました。新設住宅着工戸数は、7カ月連続で前年同月比減少、公共工事は、2カ月連続で前年同月比で減少しました。有効求人倍率は、前月比横ばいの1.29倍で、2月の企業倒産は前月比1件増の6件、負債総額は同1億35百万円増の5億33百万円となりました。

今後の宮崎県経済のポイントとしては、①景気回復が続く一方で、物価上昇がもたらす消費者マインドへの影響が懸念される ②賃上げや宮崎市中心市街地の再開発等がさらなる消費喚起や需要拡大につながるかどうかが大きく影響することを勉強しました。

